

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表 示	意 味
△危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が生じ、または火災の発生が想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の発生可能性が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

- 傷 害 : 治療入院や長期の通院を要さない、けが、やけど(高温・低温)、感電などをさします。
物的損害 : 家具、家財および家電、ペットにかかわる重大損害をさします。
- 総表示については次のような意味があります。
- △ 一般的な危険警告注意
 - ⚡ 火災注意
 - ⊘ 一般的な禁止
 - ⊘ 触れるな
 - ⊘ ぬれ手禁止
 - ⚡ 分解禁止
 - ⚡ 必ず行うこと
 - ⚡ 電源プラグをコンセントから抜く
 - ⚡ 必ずアース線を接続せよ

△危険

屋内設置禁止

この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

機器の異常に気付いたら

- ① 電源運転を止める。
② ガス栓を閉める。
● 使用中に異常な燃焼・臭気(ガスのにおい)異常を感じたときはあわてずに運転を停止してガスをため、もよりのガス会社にご連絡ください。
● 地震や火災発生時もあわてずに運転を停止してください。

工事は資格必要

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要で、工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社に依頼してください。

正しい設置禁止

この機器は屋外用です。増設などによって燃焼状態にしないであってください。また、逆板などによって燃焼状態にしないであってください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

機器の銘板を確認

※この機器の銘板はフロントカバーのここに張ってあります。

※下図は銘板の一例です。

この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

- 火を使ったり電線プラグの抜き差し禁止
- 電気器具(換気扇などのスイッチの「入・切」禁止)
- ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

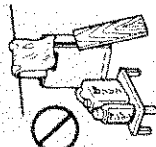
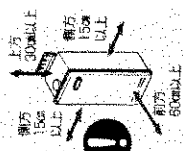
ガス漏れに気付いたら、ガス会社の保衛による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

安全上のご注意

△注意

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の距離を確保すること。
- 排気口が洗たく物などでおおわれぬようにすること。
- 機器周辺に紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器周辺にガソリン、ペンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。
- 火をつけたまま外出はしないこと。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。

火災の原因になります。



不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。

用途について



暖房以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

感電防止のために



感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

やけど防止のために必ず守ること

- パネルヒーターの表面はさわらないでください。
- やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。



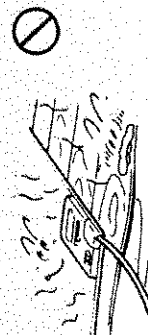
使用中や使用直後は排気口やその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



触れるな

床暖房の破損防止のために

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。



- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。通水パイプが破損します。



△注意

低温やけど防止のために

床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。

- ①乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かさない方。
- ②疲労の強いときや深酒をしたとき
- ③皮膚の弱い方



機器の破損防止のため必ず行うこと

雷による一時的な過電流で電子部品が破損することがあります。雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。



冬期に水道水が凍結するおそれがある日は、45/46ページの方法で凍結予防を行ってください。



お願い

機器の設置状態についての確認

- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は空けてありますか？ 正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③薪の下など落下物の危険はありませんか？
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？ メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤排気口への埃や、薪屑から落ちた雪で埃・排気口が閉塞されることはありませんか？ 不完全燃焼の原因になります。
- ⑥換気水を手動で補給する場合は機器上方の補給のための空欄を考慮して設置してください。又、機器を設置する高さも補給作業を考慮して設置してください。

以上の項目を確認してはいない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。



機器の分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。事故や故障の原因となります。



電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っ張ってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。



機能と特長

マルチ暖房機能

- 高温 (80℃) または低温 (60℃) の暖房ができます。
- ソフト床暖房から温水エアコンまで幅広くご利用いただけます。

簡単操作

- 暖房はお部屋の端末器の運転スイッチを「入」にするだけで自動的に運転します。

暖房水自動補給

- 暖房補給水工事をしてください。暖房水が不足したとき自動的に暖房水を補給します。
- 暖房補給水工事をせずに、手動補給式としても使用できます。

アメニティー機能 (快適制御)

アメニティー機能付温水エアコンと接続してドライ運転をしたとき

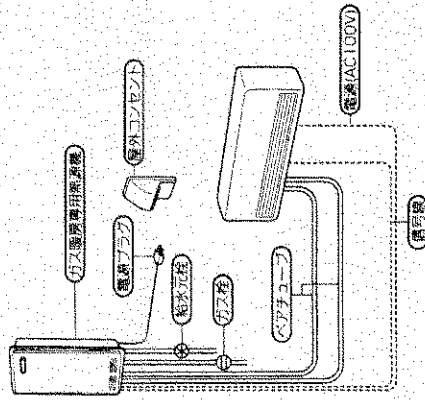
- 温水エアコンの除湿機能をより向上させ、室温を下げないドライ (除湿) 運転を行います。

インテリジェント機能付床暖房リモコンと接続して休眠用をしたとき

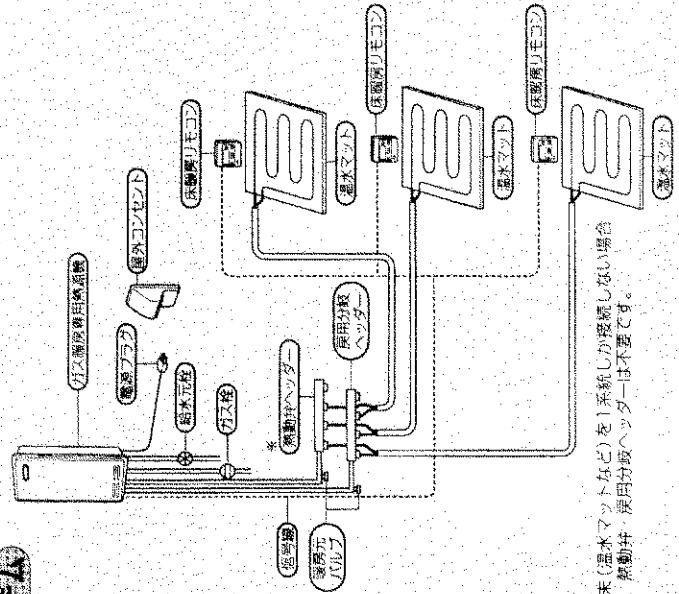
- お部屋の温度に応じて温水の量を制御し、快適な床暖房を行います。
- ※ 各部屋個別 (床暖房リモコン設置単位) にお部屋の温度に応じて温水量の制御ができます。

各部のなまえとはたらき

浴室暖房システム



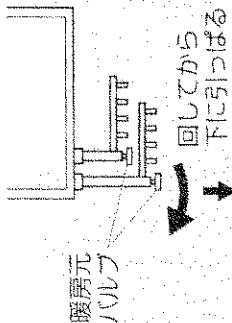
床暖房システム



※ 温水 (温水マットなど) を1系統しか接続しない場合は、熱動弁・使用分岐ヘッダーは不要です。

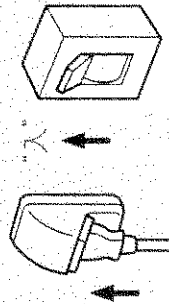
はじめにお使いのときは、まず...

1 暖房元バルブが全開になっていることを確認します。



機器の下部

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

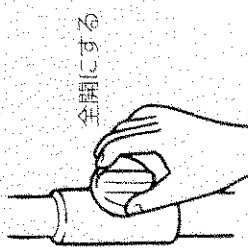


△注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

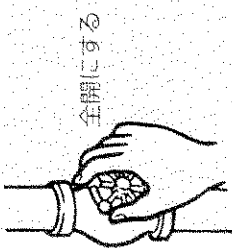
機器付近の壁

3 ガス栓を全開にします。



機器の下部

4 自動補水の場合は給水元栓を全開にします。
・手動補水の場合は、45ページの「暖房水の手動補給のしかた」に従って補水をしてください。



機器の下部

暖房のしかた

放熱器や床暖房リモコンで操作します。

△注意

- ・床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、暖房の原因となります。
- ・カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
- ・パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- ・床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときや深酒をしたとき
 - ・皮膚の弱い方

暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。

(放熱器の取扱説明書もご覧ください)

- ・点火しないときは、運転スイッチを一旦「切」にしてから再度「入」にしてください。
 - ・放熱器の空気抜き栓は開けないでください。
- 空気抜き栓を開けると、安全装置が作動して暖房できなくなることがあります。

停電・断水・ガスの供給が停止したときは...

停電時運転は停止します。再通電すると運転を再開(放熱器により異なります)しますが、停電中は急のため放熱器の運転スイッチを「入」にしないでください。

断水時そのまま使用できませんが、暖房水が不足していると安全装置が作動し暖房運転が停止します。暖房水自動補給で断水中に暖房運転が停止した場合は、再通水時に電源プラグを抜き差ししてください。
暖房水自動補給の場合に、暖房水の不足により暖房運転が停止した場合は、9ページの「暖房水の手動補給について」に従って補給をしてください。
(電源プラグの抜き差しは必要ありません)

ガスの供給が停止したとき運転は停止し、ガスの供給が再開されても運転しません。一旦放熱器の運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、放熱器の運転スイッチを「入」にしてください。



暖房のしかた

暖房水の手動補給について

放熱器の運転スイッチまたは床暖房リモコンの暖房運転スイッチを入れても運転しない場合、または途中で運転が停止した場合は、暖房水が減っていますので、暖房水の補給をしてください。(暖房水が減ると、本体のほうでもおしらせランプが点灯してお知らせします)

△注意

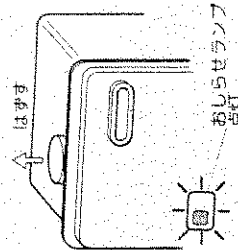
運転直後はタンク(暖房水)が高温になっていますので、やけど予防のため機器が冷えてから行ってください。

暖房水補給の前に

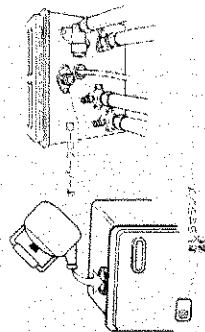
放熱器の運転スイッチ、床暖房リモコンの暖房スイッチを切る。

1 注水キャップをはずす

オーバーフロー口から水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。おしらせランプが点灯します。



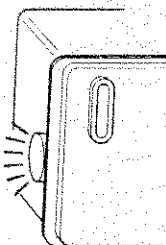
暖房水が高温になっていると温風が吹き出すことがありますので、冷えてからはずしてください。



必ず水道水を使用してください。井戸水などを使用すると故障の原因になります。

3 注水キャップを取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりとめ込む。



- 暖房水の凍結は4か月に1回程度ですが、給湯・暖房の使用時間により異なります。
- 水の減りかたが早かったり急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。お買い上げの販売店またはおまかせのガス会社にご連絡ください。

冬期の凍結による破損防止について

- 暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

△注意

- 冬期は暖かい地方でも配管中の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するため、冬期は電源プラグを抜かないでください。またガス栓も閉めないでください。
- 不凍液を使用せず長期不在等で電源を切る場合は(水抜き)を行ってください。
- 不凍液を入れる方法もあります。ただし電源プラグは抜かないでください。
- 給水配管や給水元栓の凍結予防は保温材を巻いたり、必要に応じて電気ヒータを巻くなどして別途対策してください。

- この機器は、外気温が下がると自動的に燃焼運転を行って、凍結を予防します。

- 電源プラグがコンセントに差し込んであることを確認してください。

- ガス栓、給水元栓が全開になっていることを確認してください。

- 「※」スノーマークがある放熱器は、運転つまみをスノーマーク(または「凍結予防」)に合わせてください。

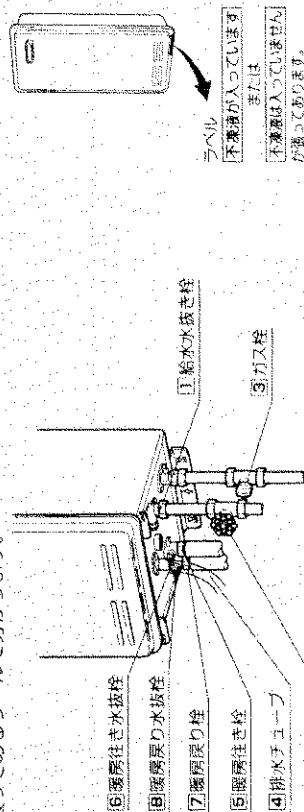
※放熱器(湯水エアコンなど)は、機種によって凍結予防運転の方法が異なるため、それぞれの説明書をお読みください。

《水抜き》の方法

- 不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを「切」にする)ときは、この《水抜き》を行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※暖房使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※不凍液が入っている場合は水を抜かないでください。不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。



①電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

②ガス栓③が閉めてあることを確認してください。

③給水元栓④が閉めてあることを確認してください。

④水抜き栓⑤⑥⑦⑧をすべて開けてください。

注) 必要に応じて放熱器と暖房配管の水抜きも行ってください。なお入居の際には、再度試運転動作が必要となります。

冬期の凍結による破損防止について

《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

- ①すべての水抜き栓を開めてください。
- ②44ページの「はじめてお使いのときは、まず…」に従って熱源機本体の運転準備をしてください。
- ※「暖房水自動補給の場合は、暖房運転を行うと暖房水は自動的に補給されますが、約2分で補水が止まります。この場合は電源プラグを抜き差ししてください。
- ・暖房水手動補給の場合は45ページの「暖房水の手動補給のしかた」に従って、補給をしてください。

凍結したときの処置

- 万一凍結した場合は使用しないでください。
- 凍結したままお使いになると、機器本体や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめてから使用してください。
- 機器本体や配管が破損すると、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)



点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

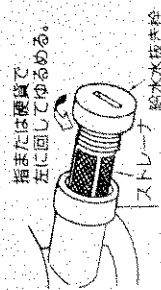
- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を開め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が続くえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 暖房水の漏れはありませんか？
- 機器周辺からガスの臭いはしませんか？
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったりは、すぐに取り替えてください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはよりのガス会社へお問い合わせください。

■お手入れ方法は

- 機器の表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかく絞りを、軽く拭き取ってください。洗剤およびシンナー、ベンジンは使わないでください。
- 給水水抜き栓先端のストレーナーにゴミなどが付いていると、暖房水が補給できなくなることがあります。このときは給水元栓を開けてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナーに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。



※必ず給水元栓を開けてから行ってください。

- 機器の給気口（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まったりすると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

故障!とお考えになる前に!

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

こんなとき調べていただくこと	燃焼運転できない	風使用時に火が消えて火かかでない	燃焼が快適でない	燃焼中に異常音がする	ガスの臭いがする	処置方法	参照ページ	お客様	ガス会社
電源プラグがコンセントからはずれている	●					電源プラグをコンセントに確実に差し込む	44	●	
ガス栓が閉まっている	●					ガス栓を確実に開ける	44	●	
給湯器のガスと供給ガスが異なる		●	●			ガス種が異なる場合は、ガス会社に依頼する	41		●
燃焼器の検知口・排気口周辺に障害物がある		●				空気の流れが良くなるように、障害物を取り除く	46	●	●
ガス配管中の空気が抜けていない	●					点火操作を繰り返す	45	●	
室内機の運転スイッチの位置が適当でない			●						●
室内機の運転スイッチの位置が適当でない			●			室内機の取扱説明書に従ってください			●
室内機のフィルタが目詰まりしている			●						●
室内機のすぐ前に障害物がある			●						●
燃焼器の検知口に空気が流入している			●			給水元栓が開いていることを確認し、元栓操作をくり返す	45	●	
ガス配管接続部のゆるみ					●	ガス栓を開めてガス会社に連絡する	46		●
燃焼水の減少(手動補給)	●	●				暖房水を補給する	44	●	

長期間使用しない場合は!

■長期間で使用にならない場合は、次のことを行ってください。

1. ガス栓を開めます。

全開にする

燃焼の下部

2. 自動補給水の場合は給水元栓を開めます。

全開にする

燃焼の下部

3. 燃焼の水抜きをします。(45ページ参照)

4. 電源プラグを抜きます。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

切

燃焼の下部

燃焼器の下部に注意

燃焼器の下部に注意

燃焼器の下部に注意

燃焼器の下部に注意

番号	マニュアル名称	発行日
B-51	給湯暖房用熱源機 HT-368RSA-SW ₅ Q HT-368RSA-SW ₃ Q HT-368RSA-SWQ HT-368RSA-SQ	H11.3
B-52	暖房専用熱源機 HS-209RSA-W	H11.3
B-53	給湯暖房用熱源機 FT-368RSA-SW ₆ Q	H11.3
B-54	暖房専用熱源機 XS-0699AR	H11.9
B-55	暖房専用熱源機 BS-045RA	H11.9
B-56	暖房専用熱源機 FS-047RA	H11.10
B-57	給湯暖房用熱源機 FT-2899ARSSW ₃ Q	H11.10
B-58	給湯暖房用熱源機 HT-2899AR-SQ HT-3599ARS-SQ HT-2899ARS-SW ₃ Q HT-3599ARS-SW ₃ Q	H11.9
B-59	給湯暖房用熱源機 BT-368RSA-AWQ	H11.9
B-60	給湯暖房用熱源機 BD-247RSA-JQ	H11.9
B-61	暖房専用熱源機 HS-0699AR	H11.12

マニュアル一覧表

●熱源機

番号	マニュアル名称	発行日	番号	マニュアル名称	発行日
B-31	給湯暖房用熱源機 HT-246RSA-AW ₂ Q HT-246RSA-AWQ HT-246RSA-AQ	H8.12	B-42	暖房専用熱源機 DS-055RA-F ₂ H	H8.12
B-32	暖房専用熱源機 DS-106RSA-W ₂ DS-156RSA-W ₂ DS-206RSA-W ₂ H	H8.12	B-43	給湯暖房用熱源機 HT-305RA-SW ₂ HT-305RA-S	H9.4
B-33	給湯暖房用熱源機 AD-246RA-Q AD-246FA-Q	H8.12	B-44	給湯暖房用熱源機 FT-246RA-AW ₂ Q ₂ FT-246RA-AQ ₂	H9.4
B-34	給湯暖房用熱源機 FT-366RSA-AW ₂ Q FT-366RSA-AWQ FT-366RSA-AQ	H8.12	B-45	暖房専用熱源機 FS-107RSA-W ₇	H10.3
B-35	給湯暖房用熱源機 FT-246RSA-AW ₂ Q FT-246RSA-AWQ	H8.12	B-46	給湯暖房用熱源機 HT-248RSA-AW ₃ Q HT-248RSA-AWQ HT-248RSA-AQ	H10.9
B-36	給湯暖房用熱源機 AT-366RSA-AW ₂ Q AT-366RSA-AQ	H8.12	B-47	給湯暖房用熱源機 HT-368RSA-AW ₅ Q HT-368RSA-AW ₃ Q HT-368RSA-AWQ HT-368RSA-AQ	H10.9
B-37	給湯暖房用熱源機 AT-246RSA-AW ₂ Q AT-246RSA-AQ	H9.4	B-48	給湯暖房用熱源機 XT-368RSA-AWQ XT-248RSA-AWQ	H10.9
B-38	給湯暖房用熱源機 XT-366RSA-AWQ XT-246RSA-AWQ	H9.4	B-49	給湯暖房用熱源機 FT-248RSA-AQ FT-248RSA-AWQ FT-248RSA-AW ₅ Q FT-368RSA-AQ FT-368RSA-AWQ FT-368RSA-AW ₅ Q	H10.9
B-39	給湯暖房用熱源機 HT-366RSB-AW ₂ Q HT-366RSB-AWQ	H9.4	B-50	暖房専用熱源機 DS-107RSA-W ₅ DS-207RSA-W ₅ DS-207RSA-W ₅ H	H10.9
B-40	給湯暖房用熱源機 HD-306RA-Q	H8.12			
B-41	給湯暖房用熱源機 AT-247RA-AQ AT-247FA-AQ	H9.4			